

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもくらぶ ガジュマ〜ル			
○保護者評価実施期間	令和 07年 03月 10日 ～ 令和 07年 03月 22日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名 様	(回答者数)	20名 様
○従業者評価実施期間	令和 07年 03月 10日 ～ 令和 07年 03月 22日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 07年 03月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ I システム(独自の学習プログラム)を使った学習支援	・ 『得意』な科目・『苦手』な科目、どちらも伸ばしていけるよう個々の能力に合わせた、スモールステップの支援を実施	・ 解答記入後、提出前の見直しチェックの習慣化
2	・ 中高生に合わせた、充実した提供時間(～20時) ・ 土曜・祝祭日のサービス提供	・ 部活動後もゆっくりご利用いただく事で、学習だけでなく心身共に成長していける	・ 土曜・祝祭日に於ける活動範囲の拡大 ・ 地域交流の拡充
3	・ 専門性の高い支援	・ 質の高い療育支援を行うために研修、勉強会などを実施している。	・ 専門的な支援に加え、個々の職員の得意分野を活かした支援の多様化

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 課外活動(プログラム)のバターン化	・ 若い職員の経験不足	・ 失敗を恐れずまずはトライしてみる(トライ＆エラーの精神)。同時に、失敗しない為の工夫も身に付ける
2	・ ご家族様だけでなく、職員間のコミュニケーション不足	・ 業務を淡々と行っているが故、職員同士の無関心さ・相手への配慮が欠けている場面が多い	・ ご家族様同様、相手が困ってないか？自分に何かできる事がないか？『何かを感じようとする気持ち』を常に意識しながら業務に挑む
3	・ 日頃の学習風景・課外活動、また、避難訓練等の安全対策に関しての情報の開示	・ ご家族様 ↔ 職員のコミュニケーションツールが少ない	・ 定期的な刊行紙発行の定着 毎月の発行が理想だが、まずは今春号から四季(春/夏/秋/冬)ごとに発行を予定